

地域医療連携室 **だより**

Office of Community

よりよい地域医療連携をめざして

特集

奈良県難病診療連携
拠点病院の
ご案内

- 室長挨拶 … 2
- 教授就任挨拶 … 3
- 第17回地域医療連携懇話会 開催報告 … 7
- 2021年度 地域医療連携実績 … 9
- 医療サービス課からのお知らせ … 15

理念

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

方針

1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。

また高度救命救急センターに加え、ER救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

室長挨拶

地域医療連携室

消化器・代謝内科 教授

室長 吉治 仁志



私は2017年より地域医療連携室長を務めさせて頂いております。奈良県におけるターミナルホスピタルである当院と各医療機関による連携システムが円滑に運用されることは、県民にとって「住んでいる地域で安心して医療を受けられる」という大きなメリットに繋がります。

高齢化が全国よりも進んでいる奈良県では医療と介護の役割分担など地域連携体制の役割はますます重要になることから、職員一同が地域の先生方と協力しながら連携体制の強化に取り組んで参りました。

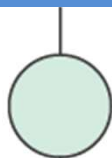
今回のCOVID-19感染拡大により奈良県の地域連携の状況は大きな変化を余儀なくされました。当院は奈良県の感染症指定病院であることから最大160床のコロナ専用病床を確保しました。一般の外来診療や入院の制限を行わざるを得なかったため、地域の先生方からの御紹介を全てお引き受けすることができず多大な御迷惑をおかけしました。幸い最近では感染状況も徐々に落ち着いて来ており、病床や手術室の稼働率も少しずつ回復していますので以前と同様に当院へ患者さんを御紹介頂きますようお願い申し上げます。

地域医療連携では、今後も初診紹介患者の予約をはじめ、外来患者逆紹介、後方連携支援、退院支援、往診支援、地域連携パスの運用など多くの活動を日々改良しながら進めてまいります。登録医の先生から紹介頂いた患者さんの経過報告に関しては、100%の返書率を達成するために継続的な取り組みを行っています。また、COVID-19のため中断しておりました登録医の先生との定期講演会・懇談会を再開して、先生方や患者さんにとって使いやすい連携システムの構築を進めていきたいと考えています。併せて、感染対策も兼ねた院内の混雑緩和のため、診察や会計・お薬の待ち状況がスマートフォンでも確認できる順番待ち表示システムなども順次導入しています。

これからも地域医療のため県民一人一人に対して対応しながら、連携先の先生、コメディカル、事務の方々など地域医療連携に関係する全ての方と共に更なる充実を図っていきたく考えております。引き続きご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



教授就任 挨拶



放射線・核医学科

IVRセンター長

教授 田中 利洋

2022年2月1日付で、放射線診断・IVR学講座の教授に就任いたしましたので、ご挨拶申し上げます。

当講座では故 打田 日出夫名誉教授、吉川 公彦前教授(現 附属病院長)のご功績により全国屈指の症例数と技術力を有する附属病院IVRセンターを運営しております。

他府県から来られる患者さんも少なくありませんが、県内・地域の患者にハイレベルのIVR治療を提供できるように努めております。6名のIVR専門医が在籍する当院の放射線・核医学科では、IVR外来を設け、常時紹介患者さんを受け入れております。血管IVRチームでは、主に大動脈瘤や大動脈解離に対するステントグラフト、閉塞性動脈硬化症に対する経皮的血管形成術(PTA)、透析シャントに対するPTAを行っております。

腫瘍IVRチームでは、肝癌に対する血管塞栓術やマイクロ波凝固療法、血管奇形および内臓動脈に対する塞栓術、子宮筋腫のUAE、関節の慢性疼痛や進行がん患者さんの疼痛緩和のIVRなどを行っております。

さらに、本年度からラジオ波凝固療法が適応拡大され、肺腫瘍や骨腫瘍などに対しても保険診療で施行可能となります。多くの患者さんのご紹介をお待ちしております。

当講座が担っている診療のもう一つの柱は画像診断です。附属病院総合画像診断センターではCT、MRI、RI/PET、超音波、消化管透視と全ての画像診断モダリティが揃っていることが特徴です。現在16名の画像診断専門医が在籍しており、全身の様々な疾患・病態に対して専門的な画像所見を提供しております。画像遠隔読影システムなども駆使して、地域医療へ貢献したいと考えております。

現在、当講座(医局)に入局し、放射線科専門医を目指す若手医師が増えております。医局員一同、益々活気を持ってIVRと画像診断に励んでおりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

教授就任 挨拶

感染制御内科
感染症センター長

教授 笠原 敬



2022年3月16日付で、奈良県立医科大学感染症センター教授を拜命いたしました笠原 敬と申します。私は橿原市で生まれ育ち、1999年に奈良医大を卒業し、第二内科に入局後、2005年に感染症センターに異動しました。感染症センターは2003年に香港を中心に重症急性呼吸器症候群(SARS)が流行した時に設立されました。

感染症センターの初代教授は三笠 桂一(現 医療法人厚生会理事長・奈良厚生会病院長)で、今までに40人以上の医局員を受け入れ、奈良県総合医療センターや奈良県西和医療センター、南奈良総合医療センターなどに感染症専門医を派遣し、それぞれの病院で感染症科を立ち上げています。

いま感染症といえば新型コロナウイルス感染症が真っ先に頭に浮かぶかもしれませんが、その他にも抗生物質の効かない薬剤耐性菌による感染症を筆頭に、様々な感染症が問題になっています。感染症の特徴として、呼吸器、循環器、消化器などと様々な臓器に渡って発症するということがあります。そのため我々感染症科だけでは診療が完結せず、色々な診療科と協力が必要になることも度々あります。また今回の新型コロナウイルス感染症のように、医療従事者総出で対応しなければならなくなることもあります。そんなときも、「核」となって全体をうまくマネジメントできる存在でありたいと思っています。

「どんな感染症が流行しても、奈良県なら大丈夫」と思っていただけで、医局員一同診療、教育、研究それぞれ頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願いたします。感染症センターの理念は、「人々が健康に暮らせるよう、最善の感染症診療と感染防止を提供すること」、「そのために優れた感染症専門医を1人でも多く育成し、全国の感染症専門医育成機関のロールモデルとなる」ことの2つと決めました。

抗生物質の使い方が分からない、感染対策で困っているなど、些細なことでも構いませんので、お困りのことがありましたらご遠慮なくご相談ください。

感染症内科ホームページ
へはこちらのQRコード、
もしくは下記
URLよりアクセスしてください。



<https://cid.naramed-u.ac.jp/>



奈良県難病診療連携拠点病院のご案内

委員長 挨拶

奈良県立医科大学附属病院は、奈良県の難病診療の拠点として、これまで長年にわたり積極的に難病患者の診療に取り組んできました。2015年の難病法の改正により300を超える指定難病が選定され、難病診療体制の構築が急務となりました。

そこで、2019年に当院が奈良県で唯一の難病診療連携拠点病院に指定されました。そして、拠点病院としての運営を協議する運営検討委員会が院内に整備され、私が委員長に就任いたしました。

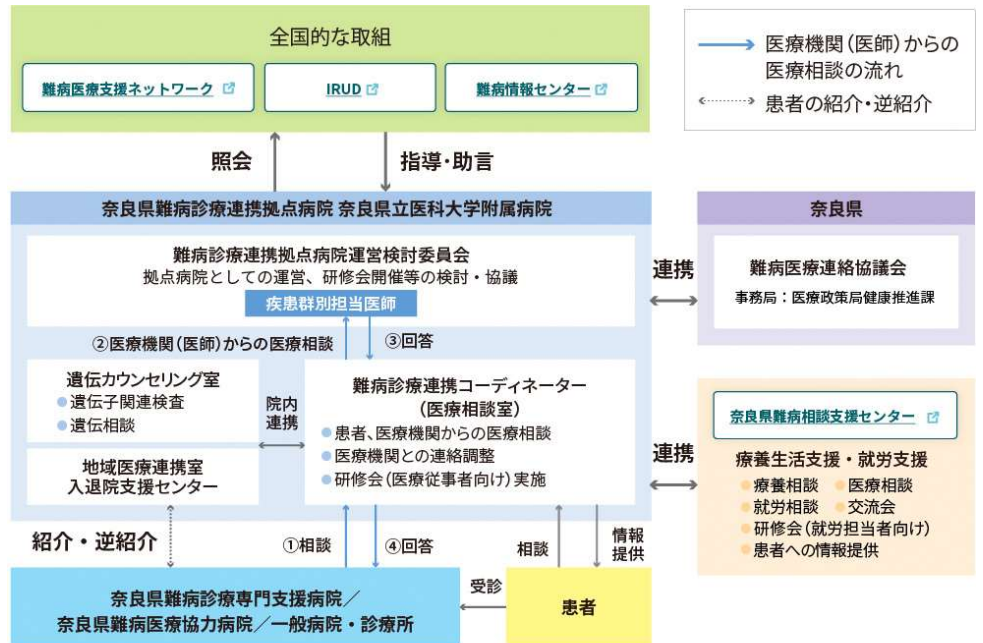
当院には、難病診療に対応可能な多数の診療科があり、経験豊富な専門医が多く在籍しています。早期の診断から高度な専門的治療を担うだけでなく、患者・家族からの医療相談や遺伝相談にも対応しております。また、県内の難病診療に携わる他病院や地域主治医の先生方、訪問看護師など多職種と緊密な連携を取りながら、社会資源を有効に用いて地域における難病患者の療養生活や治療、就労、介護の支援体制の構築に努めています。今後さらに、難病診療レベル向上を目指した研修会の開催や難病診療の啓蒙など、より充実した難病事業を展開してまいります。



奈良県立医科大学附属病院
難病診療連携拠点病院
運営検討委員会
脳神経内科 教授
委員長 杉江 和馬

拠点病院の主な役割 について

- 難病全般について、早期診断・専門的治療の提供
- 遺伝子関連検査及び遺伝カウンセリングの実施
- 患者及び医療従事者を対象とした難病医療に関する相談窓口の設置
- 適切な医療機関で治療を継続できるように、支援病院、協力病院及び地域の医療機関との連携の構築



奈良県難病医療提供体制のイメージ図

ホームページによる情報提供

奈良県の難病医療提供体制や、当院で診療可能な指定難病や各診療科の取り組みを紹介しています。(2022年4月にリニューアルしました！)

今後も内容の充実を図っていきますので、ぜひご活用ください。



取り組みの紹介

「奈良県難病診療連携拠点病院」で検索、または
<https://www.naramed-u.ac.jp/~nanbyokyoten/>
よりご覧いただけます。



医療従事者向け 研修会について

年に1回医療従事者向け研修会を開催しています。今年度については、詳細が決まり次第ホームページやチラシにてご案内いたしますので、ぜひお申し込みください。



難病診療ガイド ブックについて

2020年度には、当院の難病診療への取り組みについてまとめたガイドブックを作成し、県内の医療機関に配布しました。

医療従事者向け専用難病相談について

奈良県内の医療従事者向けに、難病相談をお受けしています。

<相談方法>

拠点病院ホームページの「医療従事者の方へ」ページに掲載の難病相談フォームにてご相談ください。

難病診療連携コーディネーターより各専門分野の医師に問い合わせを行い回答いたします。

<相談内容>

- 医療機関の紹介／確定診断について
- 難病医療支援ネットワークへの照会について
- 遺伝カウンセリングについて など

(難病相談フォームQRコード)



初診予約は地域医療連携室の紹介システムにて各診療科へご紹介ください。

その他、難病診療についてお困りのことがありましたら下記相談窓口までご相談ください。

奈良県立医科大学附属病院
医療相談室
難病診療連携コーディネーター
TEL:0744-22-3051
(内線3224)

第17回 地域医療連携 懇話会 開催報告



(当日の会場の様子)

開催概要

開催日時: 2022年3月10日(木) 14:00~

開催場所: 厳櫃会館 3階 大ホール

講演Ⅰ 「新型コロナウイルス感染症対策を振り返る
— 奈良県医師会2年間の軌跡 —」
一般社団法人奈良県医師会 会長 安東 範明

講演Ⅱ 「地域医療構想などの医療施策の現状と
コロナ禍を受けての今後の動向」
奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授 今村 知明

参加者: 76名

今回はZoomウェビナーを使用し、感染対策に配慮しながら会場とWeb双方から参加いただけるハイブリッド開催といたしました。コロナ禍の中、多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

参加者の皆様からは「これまでのコロナ対応、特に奈良県内の取り組みなどに特化した内容が聞けて、よい振り返りの機会となった。」「見えないところで様々な職種が動いてきてくださったことを知れた。」など多くのご意見をいただきました。

今後も魅力のある懇話会を目指し取り組んでまいります。

当日のパネリスト

奈良県立医科大学附属病院
病院長 吉川 公彦



一般社団法人 奈良県医師会
会長 安東 範明

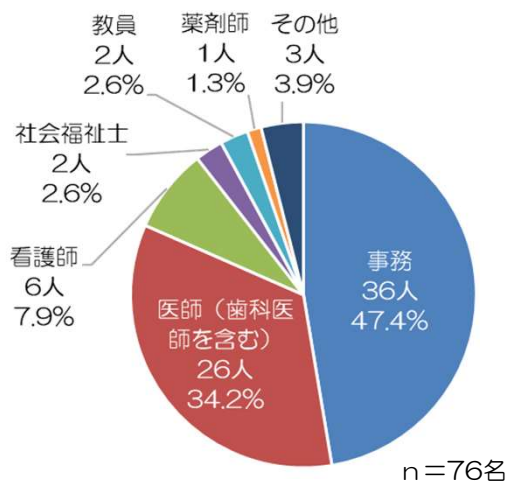


奈良県立医科大学附属病院
地域医療連携室
室長 吉治 仁志



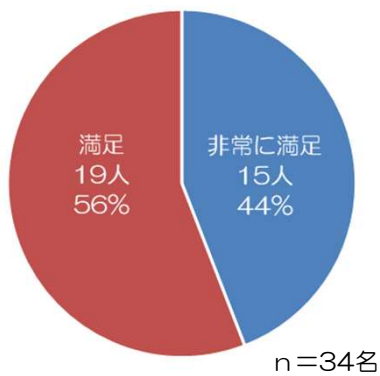
奈良県立医科大学
公衆衛生学講座
教授 今村 知明

参加者 職種内訳

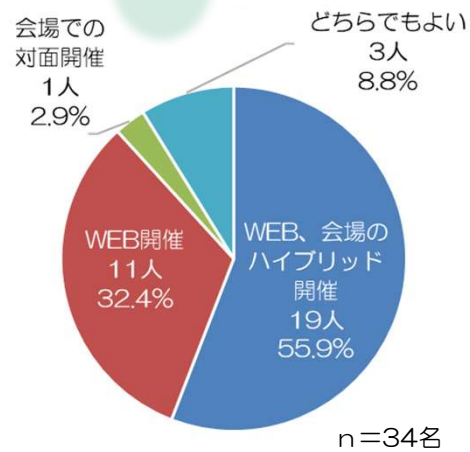


アンケート 集計結果

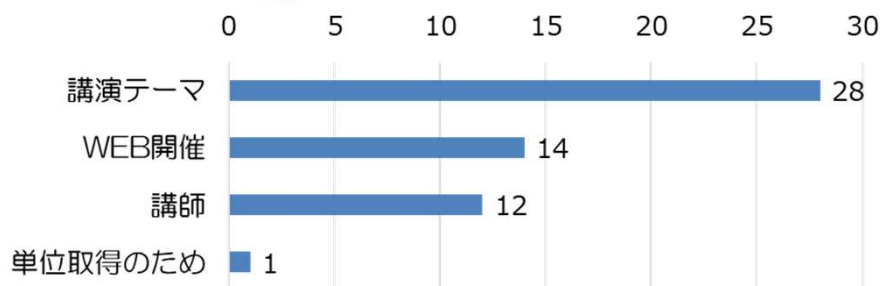
全体の満足度



今後の開催形態



参加動機（複数回答可）



2021年度 地域医療連携実績

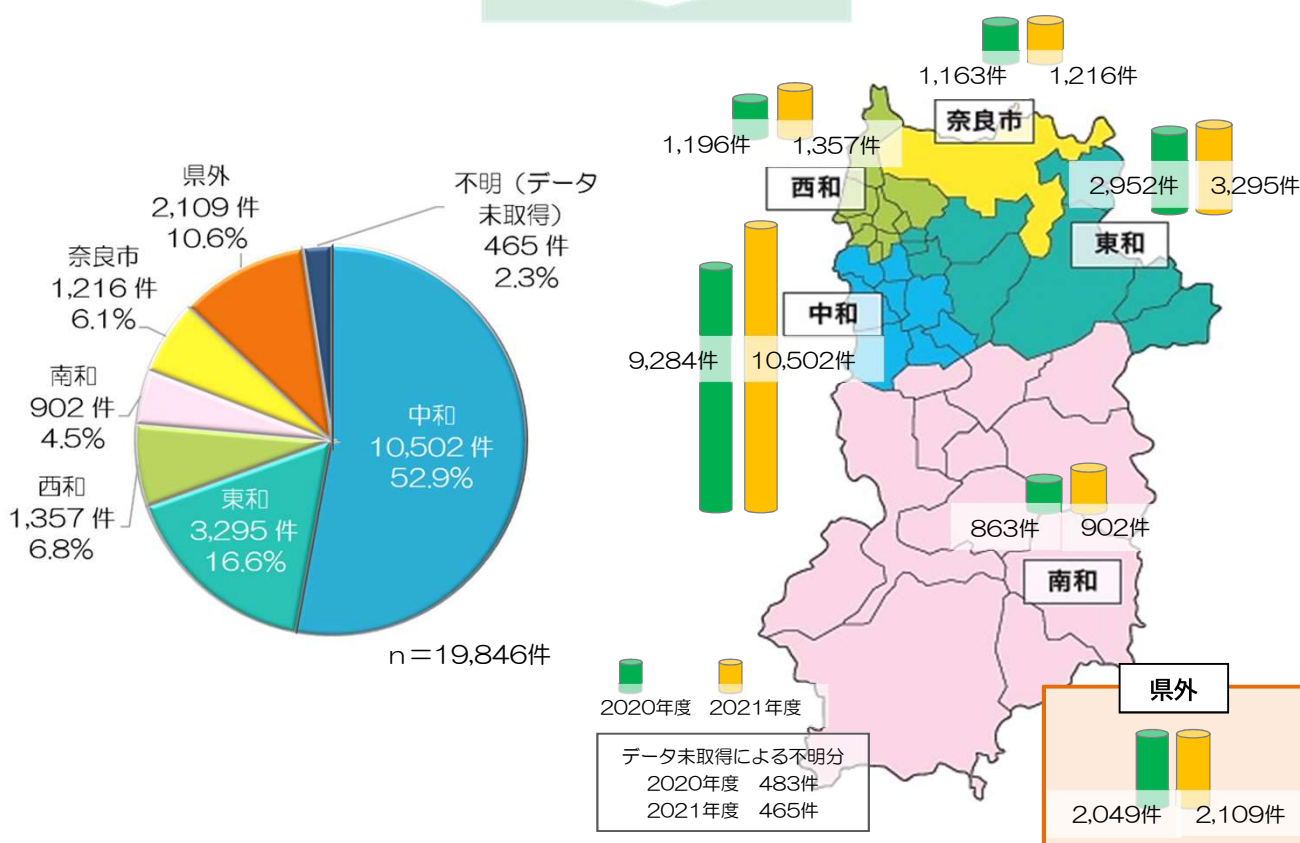
【初診紹介実績】

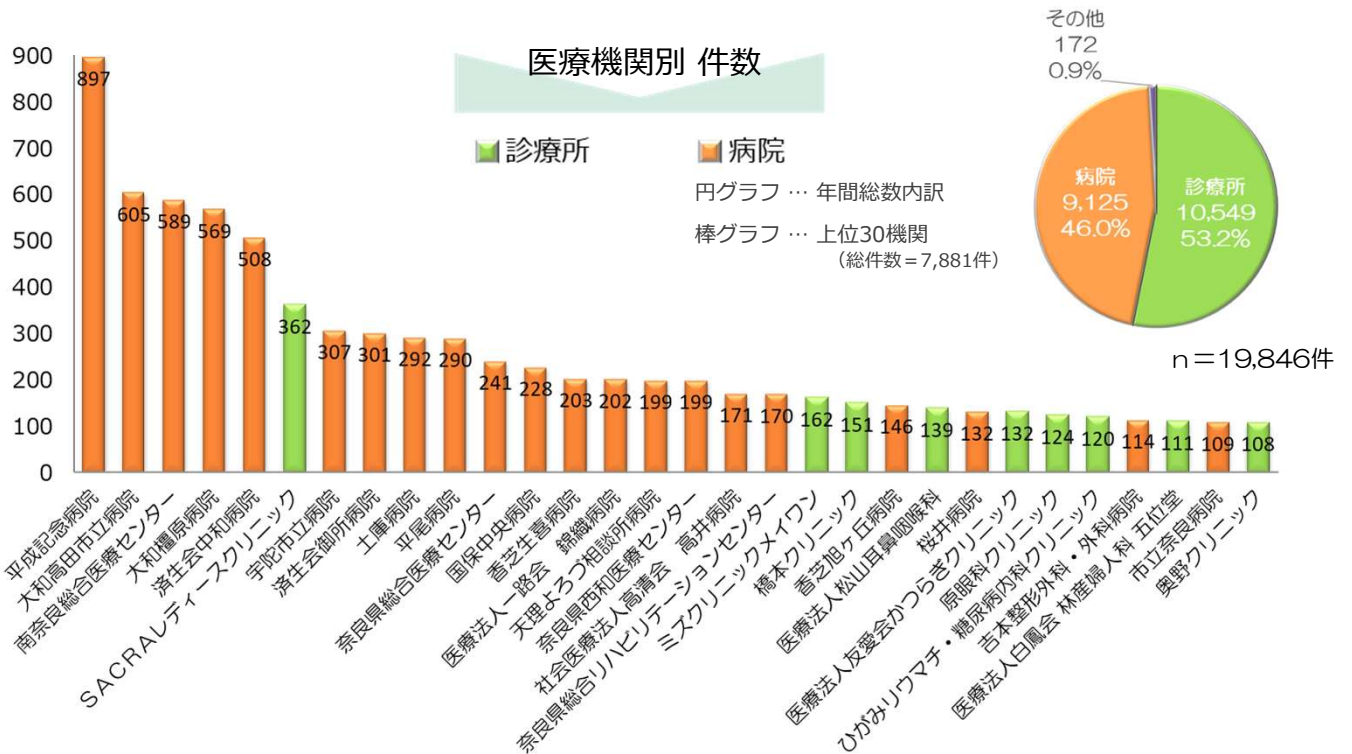
主な項目の推移

	2020年度	2021年度	前年度比
初診紹介患者総数	17,990件	19,846件	110.3%
初診紹介予約数	11,140件	12,937件	116.1%
予約取得率	64.4%	67.5%	3.1ポイント増
逆紹介患者数	20,515件	20,061件	97.8%

初診紹介患者数 内訳

医療圏別 件数





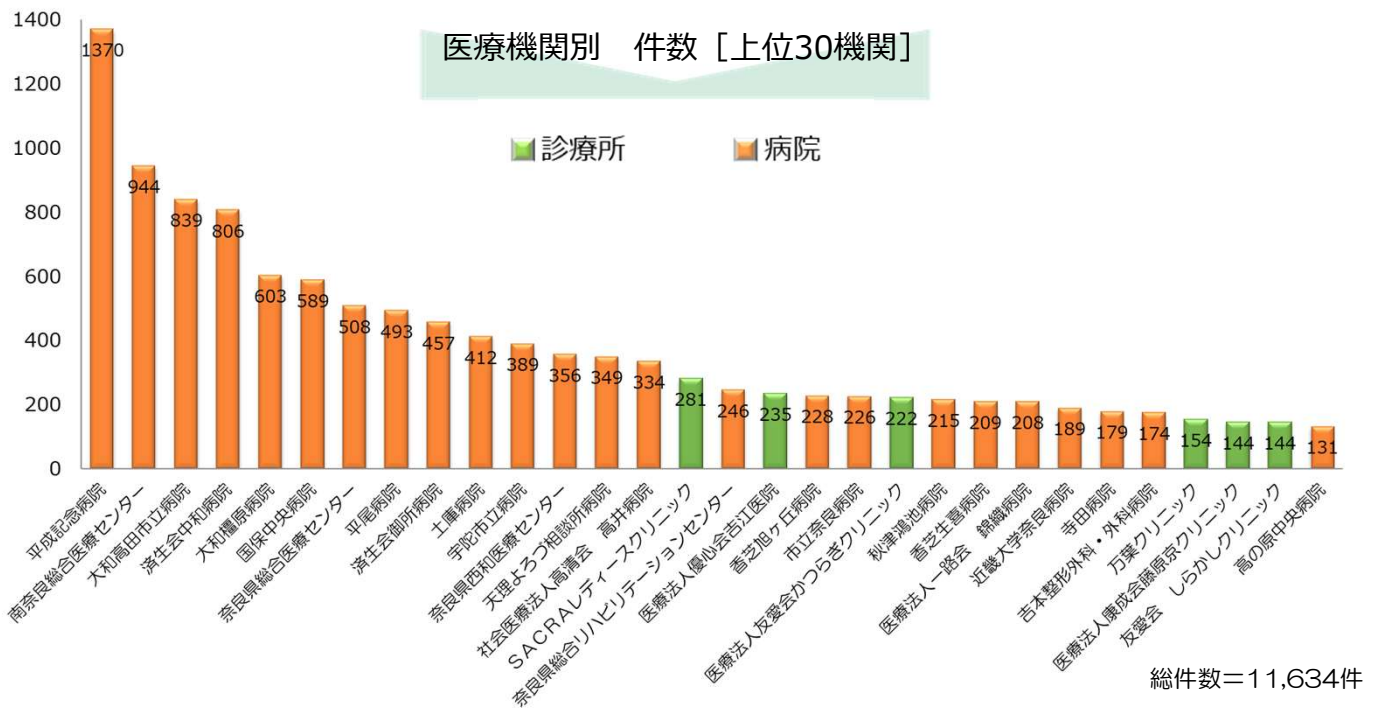
医療機関別 件数 (病院・診療所別 各上位10機関)

1 …連携登録医機関

	医療機関名 (病院)	件数
1	平成記念病院	897
2	大和高田市立病院	605
3	南奈良総合医療センター	589
4	大和橿原病院	569
5	済生会中和病院	508
6	宇陀市立病院	307
7	済生会御所病院	301
8	土庫病院	292
9	平尾病院	290
10	奈良県総合医療センター	241

	医療機関名 (診療所)	件数
1	SACRALレディースクリニック	362
2	ミズクリニックメイワン	162
3	橋本クリニック	151
4	医療法人松山耳鼻咽喉科	139
5	医療法人友愛会かつらぎクリニック	132
6	原眼科クリニック	124
7	ひがみりウマチ・糖尿病内科クリニック	120
8	医療法人白鳳会 林産婦人科 五位堂	111
9	奥野クリニック	108
10	野島眼科	105

【逆紹介実績】



医療機関別 件数 (病院・診療所別 各上位10機関)

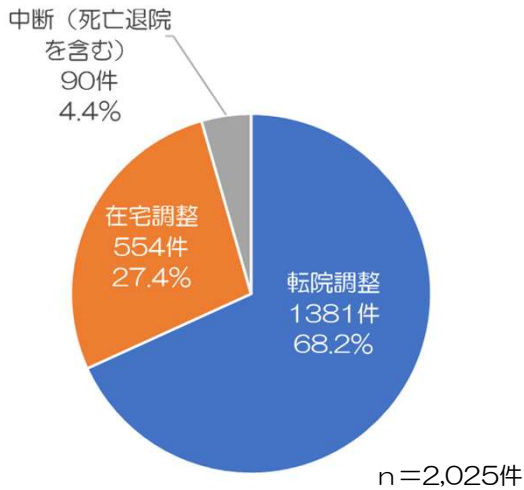
1 …連携登録医機関

	医療機関名 (病院)	件数
1	平成記念病院	1370
2	南奈良総合医療センター	944
3	大和高田市立病院	839
4	済生会中和病院	806
5	大和橿原病院	603
6	国保中央病院	589
7	奈良県総合医療センター	508
8	平尾病院	493
9	済生会御所病院	457
10	土庫病院	412

	医療機関名 (診療所)	件数
1	SACRALレディースクリニック	281
2	医療法人優心会吉江医院	235
3	医療法人友愛会かつらぎクリニック	222
4	万葉クリニック	154
5	医療法人康成会藤原京クリニック	144
6	友愛会 しらかしクリニック	144
7	中辻医院	124
8	医療法人榎本医院	112
9	ひがみリウマチ・糖尿病内科クリニック	109
10	翠悠会高田診療所	105

【退院調整実績】

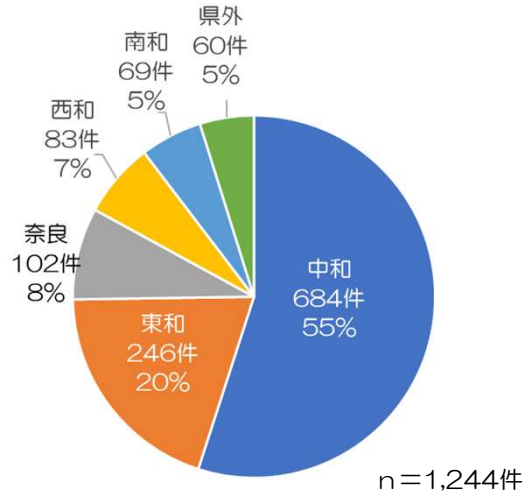
退院調整件数内訳



- 転院調整 … 転院調整(日程調整)
奈良県脳卒中地域連携パス
施設入所
- 在宅調整 … 在宅調整(通所リハを含む)
透析施設紹介、乳がんパス

医療圏別転院調整件数内訳

※ 奈良県脳卒中地域連携パス、施設入所を除く



県外内訳

- 大阪府 26件
- 三重県 14件
- 和歌山県 8件
- 兵庫県 4件
- 京都府 3件
- その他(関東など) 5件

医療機関別 転院調整件数 [上位30機関]



ご紹介の際は事前予約をお願いいたします！

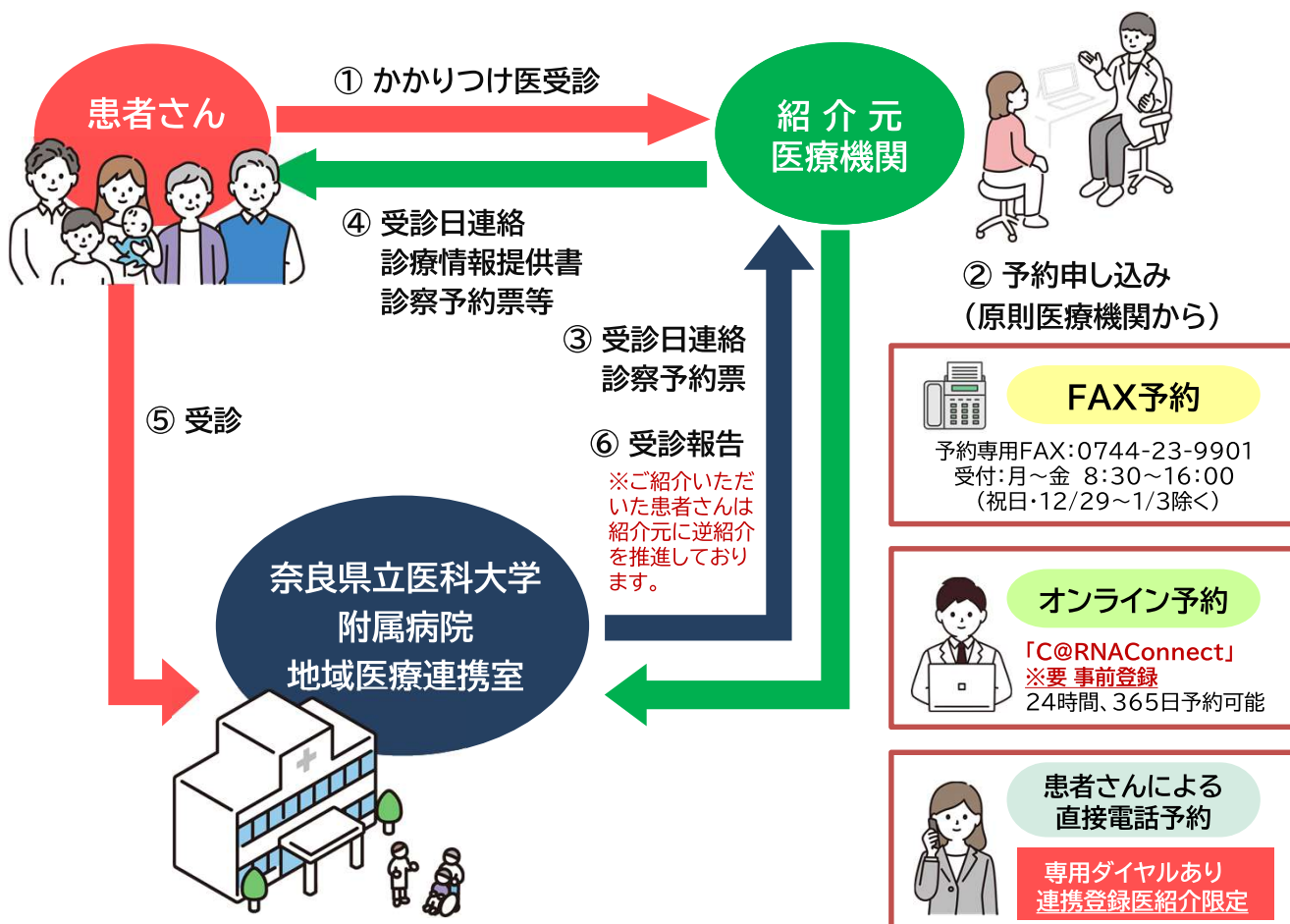
当院では患者サービス向上や診療支援のため、緊急の場合を除いては初診予約システムを利用した予約診療を推進しています。

このシステムをご利用いただくことにより、多くのメリットがあります。

- ✓ 目的に合った専門医の診察を受けることができます
- ✓ 診察に必要な事務手続きが簡略化できます
- ✓ 予約取得することで、待ち時間が短縮されます

大切な紹介患者さんが安心して受診するため、また、受診患者全体の待ち時間緩和のためにも、紹介時にはご予約をお取りいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

初診紹介患者さんの予約診療の流れ



精神科からのお知らせ

毎週木曜日、「子どものこころ」外来 の初診予約診療が始まりました！

⚠️ 完全予約制となっています ⚠️

● 対象年齢 6歳～17歳まで

※初回診療は予診・事前検査などにより長時間に
及ぶ場合があります。

※本人が受診しない家族だけの受診はお受けでき
ません。

診療予約のお手続き方法に
ついては、奈良県立医科大学
附属病院 地域医療連携室ホ
ームページをご覧ください。

(初診予約方法は
こちらから👉👉)



「連携登録医」への登録はお済みですか？

連携登録医にご登録いただくと、次のような利点があります。

- ① 連携登録医からの紹介に限定し、紹介患者さんからの電話による直接予約が利用できます。
- ② 定期的なメールマガジンで奈良医大の情報をお届けするため、最新情報をいち早く入手することができます。
- ③ 連携登録医と当院医師との交流の場として、「連携登録医のつどい」を開催しています。地域連携、病診連携、日常の診療に関する情報交換の機会としてご参加いただけます。
- ④ 紹介いただいた患者さんのカルテ閲覧や入院中の患者訪問等、当院での患者情報を共有することができます。
- ⑤ 新規の患者さんから日常のかかりつけ医について相談があった際には、連携登録医機関を患者さんに案内し、逆紹介いたします。

(登録医申請方法は
こちらから👉👉)



登録はいつでも可能です。この機会に、ぜひご登録をお願いいたします。

受付機能を強化しました

入退院・救急受付の待ち時間及び混雑解消のため、受付発券機を設置するとともに、受付窓口を増設しました。



コンシェルジュを配置しています

2階外来待合にコンシェルジュを配置(★)し、患者さんにきめ細やかな対応ができるよう案内サービスの充実に努めています。



自動精算機が新しくなりました

患者さんのお支払いに関して利便性の向上を目指し、院内すべての自動精算機を最新機種に更新しました。



編集・発行 奈良県立医科大学附属病院 地域医療連携室

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

TEL (代表) 0744-22-3051/ (直通) 0744-29-8022

FAX 0744-23-9923 URL <https://www.naramed-u.ac.jp/~chiiki/>

発行 2022年7月

